

第39回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

○開催日時 令和6年7月31日（水）1400～1500

○場 所 京丹後市京丹後庁舎2階会議室

○出席者 【京丹後市】市長、副市長

【京都府】総務部副部長

丹後広域振興局地域連携・振興部長（丹後広域振興局長代理）

【京都府警察本部】警備部理事官（警備第一課長代理）

【京丹後警察署】警備課警備係（京丹後警察署長代理）

【地域住民代表】京丹後市区長連絡協議会会長兼ねて京丹後市島津連合区長

京丹後市防犯委員会

京丹後市交通安全指導員会会長

京丹後市女性連絡協議会副会長、理事

京丹後市袖志区、尾和区、中浜区各区长

【米軍経ヶ岬通信所】第14ミサイル防衛中隊長

【航空自衛隊】経ヶ岬分屯基地第35警戒隊長

【近畿中部防衛局】企画部長、京丹後現地連絡所長

○米軍経ヶ岬通信所司令の挨拶

- ・ 交通安全について、日本の交通法規違反を真摯に受け止めている。今年5月、京丹後警察署及び近畿中部防衛局主催の交通安全講習会に参加し、日本の交通ルールを再確認する大変良い機会になった。引き続き、経ヶ岬通信所の隊員及び請負会社職員に対し、交通安全の重要性を含む安全指導を実施していく。
- ・ 発電機について、引き続き、可能な限り発電機の使用を緊急メンテナンスなど必要不可欠な場合のみに限定した稼働に努める。なお、緊急時の稼働は避けられないことを引き続き御理解願いたい。
- ・ 地域交流について、今年7月に航空自衛隊の分屯基地開放イベントに参加し、多くの方と交流ができ、また在日米陸軍軍楽隊の演奏もあり、皆様と大いに盛り上がった。宮津市で開催されたイベントにも参加し、ブルーインパルス飛行も観覧でき、大変貴重な機会になった。今後とも、英会話、海岸清掃そして地域の祭りなどの文化交流に積極的に参加してまいりたい。引き続き、地域並びに自治体の皆様方と協力し、イベントを随時企画、支援していきたい。
- ・ 今年5月、皆様のおかげで無事に経ヶ岬通信所設立10周年式典を開催することができ、多くの方にご来臨頂くことができた。この場をお借りして、ご理解とご協力にお礼を申し上げる。これからも友好関係を一層強化し、良き隣人として今後とも努めていきたい。

○防衛局の説明・構成員の意見等の概要

（1）交通事故の状況等及び交通安全に対する取組み

【説明要旨】

- ・ 今年の3月から6月までの4か月間で、米軍関係者が関わる交通事故件数は2件。
- ・ 道路工事に伴う交通規制については、京丹後市から情報をいただき防衛局から速やかに米軍に情報共有。野生動物の目撃情報についても、速やかに米側に情報提供。今年はクマの目撃情報が多数寄せられていることから注意喚起があり、速やかに米側へ情報提供している。
- ・ 京丹後警察署に御協力いただき、今年5月に旧宇川中学校を会場として交通安全講習会を開催した。日本の四季による交通事情の変化を学ぶ座学講義と、車幅の感覚を養う実習講習を行った。今後とも交通安全に資する講習会を企画してまいりたい。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 今回の交通事故は軽微なものが2件。京丹後市域全体における近年の交通事故発生状況については、平成30年度以降減少傾向にあったが、令和4年度以降は増加傾向。令和5年度は、前年度対比で42パーセント増となっており、特に高齢者が関係する交通事故が48.5パーセントとなっている。京丹後市は高齢者が多いので、高齢者を含む市民の交通安全・安心の確保のため、引き続き交通安全対策に取り組んで頂きたい。

(京丹後市)

【意見要旨】

- ・ 今回の交通事故件数は2件。米軍側に過失があったものであれば、再発防止を徹底して頂き、効果的な未然防止策の実施、継続的な交通安全教育の徹底を行って頂きたい。

(京都府)

【回答要旨】

- ・ 交通安全等の未然防止の徹底について、交通安全対策については、あらゆる機会を活用して、これまでも米軍との間で様々な調整をしてきているところ。車を運転する以上、リスクはつきものであるものの、そのリスクをできる限り少なくできるように、警察のご指導を頂きながら、毎年実施している交通安全講習会において効果的な講習を行うなど、今後ともしっかりと対応してまいりたい。
- ・ 近畿中部防衛局としては、継続的な取り組みが重要と考えており、引き続き、関係機関のご協力を得ながら、交通安全対策にしっかりと取り組んでいきたい。

(近畿中部防衛局)

(2) 水質調査

- ・ 今年3月、浄化槽の運用開始後第4回目の水質調査を実施したところ、全窒素が環境基準値を上回り、昨年度環境基準値を上回ったCOD（化学的酸素要求量）については、環境基準値内であった。
- ・ 全窒素の測定値が高くなった理由は、調査日が比較的強い風で高い波が生じていたため、底に生息している植物や栄養塩類が豊富な底の泥が巻き上げられ、プランクトンや藻など

の植物由来の窒素が測定されたと考えられるとのことであった。また、汚れを調べる主要な目安であるCODについては、昨年より低下していることから、窒素含有量が高くなったのは、生活排水由来ではなく、プランクトンや藻などの植物由来の窒素が原因であると考えられるとのことであった。

- ・ 水質全般の状況としては、昨年度と比較すると、全窒素以外は低下又は基準値内であることから、水質悪化の状況は、見られないとのことであった。
- ・ 過去5回の水質調査結果から水質汚濁の傾向は見られないが、1つの調査項目で環境基準を上回ったため、今後、内容を精査して、次回の水質調査について検討してまいりたい。
- ・ なお、米軍の浄化槽は、日本の環境基準に適合することを前提で作られた日本製の浄化槽であり、日本の浄化槽法が定めるところと同様の保守点検を行っている。米軍からは、周辺環境に影響を及ぼさないよう徹底すると聞いており、今後とも米軍と連携して対応していく。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 全窒素が基準値を超えた時に、環境や健康にどのような影響があるのかを教えてください。また、3月の検査日は、風で波が高い日であり、海底に沈殿していたものが海中に浮遊する状況下で、このような結果になったとのことであれば、できれば波が穏やかな状況で、できるだけ早く同じ水質検査の実施をお願いしたい。
- ・ 全窒素が基準値の約6～7倍とかなり高くなっている意味や影響、それが基地からの排水と関係があるのかどうか、説明してほしい。

(京丹後市)

【意見要旨】

- ・ 水質調査の件、基準値を上回っているところが気になる。生活排水由来とは考えにくいとのご説明は一定の合理性があると思う反面、米軍基地からの排水が一般的な生活排水と同等と考えていいのかわからない中で、その説明についてそのまま了とできるのかわからないという点も含めてご対応をお願いしたい。

(京都府)

【回答要旨】

- ・ 生活排水との関係では、汚れを調べる主要な目安であるCODは、昨年度より低下し、基準値内であった。今回窒素が高くなったのは、強い風で高い波が生じ、底に生息している植物や栄養塩類が豊富な底の泥が巻き上げられ、プランクトンや藻などの植物由来の窒素が測定されたと考えられることから、生活排水由来ではないとのことであった。
- ・ 米軍からは、日本の浄化槽法が定めるところと同様に毎年1回行われている浄化槽の検査において、排水は定められている基準値内であったと聞いている。
- ・ いずれにしても、ご指摘の点も含め、今後の調査に向けて検討していきたい。

(近畿中部防衛局)

(3) 日米交流事業等

【説明要旨】

- ・ 今年3月23日、京丹後市国際交流協会とともに、峰山地域公民館において「イースターエッグハント」のイベントを開催。当日は、雨天にも関わらず、60人を超える子供たちが集まり、アメリカ文化に親しんで頂いた。
- ・ 本年4月16日、宇川小学校において、京丹後警察署主催の、児童の登下校を見守る交通安全運動に参加。登校した児童らは、米軍人とハイタッチして挨拶するなどして交流。
- ・ 4月28日、経ヶ岬灯台保存会主催の経ヶ岬灯台遊歩道整備プロジェクトが開催され、参加した米軍関係者は、駐車場から灯台へ続く遊歩道の落石の除去・清掃を、地元の方々と一緒に実施した。
- ・ 6月15日、国際交流協会主催の久美浜町での海岸清掃に参加。地域の皆様と、打ち上げられた漁具やロープなどの清掃に汗を流したところ。
- ・ 5月25日、神奈川県キャンプ座間に拠点を置く在日米陸軍軍楽隊が京丹後市を訪れ、道の駅丹後王国「食のみやこ」で京丹後市国際交流協会と米軍経ヶ岬通信所共催の演奏会を実施。来場された方々に演奏をお聞き頂いた。
- ・ 米軍は、良き隣人として、地域との交流や清掃等のボランティア活動に積極的に参加している。近畿中部防衛局としても、米軍と連携し、米軍と地域の皆様とのコミュニケーションの支援に努めてまいりたい。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 10年にわたって「良き隣人」として信頼関係の構築がなされてきたことに対して、敬意を表する。今後ともその関係を維持できるようによろしくお願いしたい。

(京都府)

【回答要旨】

- ・ 米軍は、地域の交流、清掃、ボランティアに、良き隣人として積極的に参加を頂いていると感じている。やはり、米軍と地域のコミュニケーションが一番大切と考えており、今後とも、米軍と連携し、地域の皆様と一緒に、努力していきたい。

(近畿中部防衛局)

(4) その他

【意見要旨】

- ・ 今年6月に三角地にフェンスが設置されたものと認識している。今後具体的な整備工事が始まるものと理解しているが、可能な範囲で計画について情報を提供頂きたい。

(京丹後市、京都府)

【回答要旨】

- ・ 「三角地」へのフェンスの設置については、米軍からは、米軍施設の適正な管理を行うための措置として設置した旨の説明を受け、直ちに京都府、京丹後市、地元区長に説明させて頂いた。
- ・ 三角地の整備については、引き続き、米軍内部の各種承認手続き等の調整が行われて

いると聞いており、近畿中部防衛局としても、可能な限り早期に整備が行われるよう、今後とも米軍と調整していきたい。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 基地警備訓練については、7月8日から9日までの2日間実施したと聞いている。この間、住民への安全対策についてご配慮頂いた点について教えて頂きたい。

(京丹後市)

【回答要旨】

- ・ 厳しい安全保障環境を踏まえれば、必要な訓練を実施することは重要であると認識している。その上で、近畿中部防衛局としては、自衛隊及び米軍に対しては、周辺住民への影響をできる限り軽減されるよう働きかけていくとともに、訓練内容等について、京丹後市・京都府や地元区長の皆様にご説明させて頂き、訓練を実施してもらいたいと考えており、今後とも、ご理解とご協力をお願いしたい。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 発電機については、緊急メンテナンスによる発電機の稼働については、やむを得ないと考えているが、土日・夜間に稼働する場合は、事前の連絡と地域住民の迷惑にならないように速やかな商用電力への復旧に努めて頂きたい。

(京丹後市)

【回答要旨】

- ・ 近畿中部防衛局は、米軍に対して、発電機の運用にあたっては可能な限り土日・夜間の稼働は控えるよう求めてきており、米軍からは、周辺住民への影響を考慮し、メンテナンス等で稼働させる際は、なるべく平日の日中とするよう努めているが、米軍の任務遂行上、メンテナンス等により、どうしても土日・夜間に稼働させる必要がある場合があり、そのことについては、ご理解願いたい旨、回答頂いている。
- ・ 近畿中部防衛局としては、どうしても土日・夜間に稼働する場合には、米軍から速やかに情報提供を受け、防衛局から地元へお知らせするとともに、米軍も速やかな商用電力への復帰に努めているところであり、今後とも、皆様方のご理解とご協力をよろしく願いたい。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 集団居住、集団通勤については、軍人の方については基地内に居住しているが、軍属の方は、市内に居住している。当初から安心・安全の確保の観点から、集団居住・集団通勤をお願いしており、これについて現状どうであるか報告をお願いしたい。そして可能な限り集団居住・集団通勤をお願いしたい。

(京丹後市)

【回答要旨】

- ・ 経ヶ岬通信所に勤務する米軍関係者は、通信所の発足以来、継続して集団通勤の実施に努めてきたところであり、現在も、軍属の方については、勤務シフト等に応じて、ワンボ

ックスカー等の利用による集団通勤の実施に努めているところと承知している。

- ・ 近畿中部防衛局としても、交通事故発生リスクを軽減し、地域住民の方々の安全・安心に資するという観点から、引き続き累次の機会に、集団通勤の励行と交通安全の徹底について米側に働きかけてまいりたい。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 米軍基地には、黒の幕がかかっているが、景観の面から、できたら違う色にしてもらえたらありがたい。
- ・ 宇川小学校周辺、丹後中学校の周りも警備会社に回ってほしい。夏場のクラブ活動で、子供たちが自転車通学しているので、交通事故を防ぐため、パトロールの時間帯を融通できればありがたい。

(地元住民代表)

【回答要旨】

- ・ 米軍施設として提供されており、米軍の基準等があると思う。
- ・ パトロールについて、状況をよく把握して、改善できるところは改善したい。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 昨年沖縄県における刑事事件の発生と関係自治体への情報提供がなされなかったことは極めて遺憾である。このことに関連して、住民の懸念の解消、安心確保、確認のため、次の点を確認、共有したい。
- ・ 当地域には、全国的にも例のない、この安安連が米軍経ヶ岬通信所設置以来、設置、運営され、関係者によって精力的に取り組んできているが、万一にも、本市で沖縄県と同様の事例が発生した場合、交通事故以外の事件・事故等の取扱いと同様に、速やかに本連絡会に報告、必要な対応等の確認をお願いしたい。
- ・ 今後とも、地域住民、地域に居住される米軍関係者、双方にとってより安全で、安心できるまちづくりの発展に向け、引き続き、情報提供、情報交換や生活・文化の交流などを、力を合わせて進めていきたい。

(京丹後市)

【回答要旨】

- ・ 近畿中部防衛局としては、できることは、しっかり対応したい。
- ・ 性犯罪は、絶対にあってはならないもの。そのために、米軍と連携して対応したい。
- ・ その上で、近畿中部防衛局としては、万一事件・事故が発生したら、引き続き、可及的速やかに情報提供に努めるなど真摯に対応したい。
- ・ いずれにしても、米軍人等が関わる性犯罪の情報提供のあり方については、現在、中央においても議論されていると承知しており、議論を注視してまいりたい。

(近畿中部防衛局)

以上